

【オリコンサルHD 防災訓練 局地的な被害を想定】

防
災
訓
練

局地的な被害を想定

オリコンサルHD

オリエンタルコンサルタンツホールディングスは8月30日、グループ各社の全国20カ所以上の拠点で全役員参加による「全社一斉防災訓練」を実施した。午前中は、首都直下地震の発生による関東地方の被災、午後からは東京都心を中心とした集中豪雨による局地的な被害を想定し、顧客からの支援要請への対応に



ついても訓練した。写真。

地震に対する訓練では、関東地方の各拠点に現地災害対策本部を設置し、初動対応の一連の流れを確認。夕方には役員2436人の安否を確認した。グループ全体を統括する災害対策統括本部については、ホールディングスが被災した場合を想定し、グループ基幹会社であるオリエンタルコンサルタンツの関西支社に設置。グループ各社の災害対策委員会から報告される各種情報の対応・判断についても訓練した。

豪雨被害の訓練では、各社の連携体制を定めた「BCP顧客対応編」に沿って、被災した地域に近い拠点が中心となり、各社の連携手順の理解、実践をテーマに実施した。

同グループでは今回の防災訓練で洗い出された課題をさらなる改善に役立て、引き続き確実な事業継続や、顧客からの災害支援要請に応え、地域の災害復旧にいち早く貢献できるように行動していく。